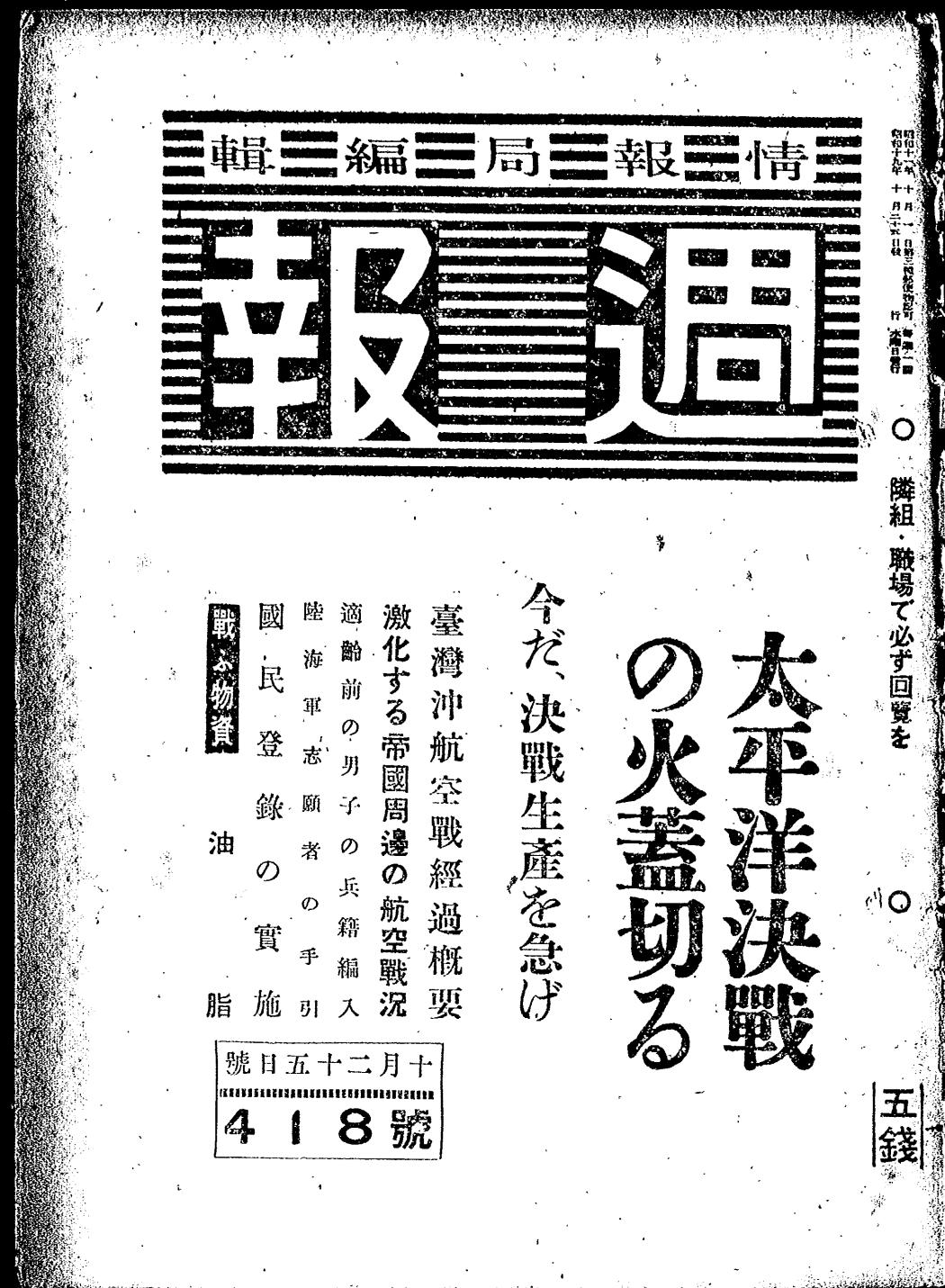


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2



週

言

放送でこのたびの大戦果の報道を聞きながら、放送員がもつと繰返してくれればよいと思ひ、新聞紙の大本營發表を読み終つてから、再び紙を開いて轟撃沈と擊破の數を飽かず眺める。新聞社の建物の上方に現はれる電光ニュースを見るためにわざく電車から降りる。これがみんなの心持であつた。

みんなが戦つてゐる戦争であることが、今度くらいはつきり分つたことはない。よくやつて下さつたと勇士たちに感謝しつゝ自分もよくやつたと心の満たされた思ひである。

敵は比島に攻め寄せてきた。太々んな事態はなつた。みんなで頑張らう。みんなの持つてゐる力を前線に凝集させ、再び敵を壊滅してやらう。その時こそ、もつと大きな感謝と喜びに、みんなの胸は満たされるに違ひない。

## 今だ、決戦生産を急げ

待ちに待つた太平洋決戦の火蓋は切つて落された。幸先を

るに心を痛めてゐたのである。

祝ふ勝利の一戦、臺灣沖航空戦は、敵機動部隊を追撃また追撃、轟撃沈破五十數隻といふ豪快らしい戦果を收めて幕を閉じた。ハワイ真珠灣を凌ぐ大戦果であり、古來の戦史に類例をみざる輝かしきものであつた。驅敵今を討つ、一億の血は沸き、一億の感激は爆發した。

思へば一年餘、長い隠忍の日が續いた。押へつけられるやうな重苦しさが我々の心のどこかにこびりついてゐた。あのガダルカナルの轉進以來、太平洋の戦勢我に利あらず、マキ、クラウ、サイパン、大曾、ニャンと、全員戦死の悲報もひどき、我々は幾度か快みの涙を呑み、憤りに胸をふるはせたのであつた。日本挾殺をさへ豪語して迫り来る敵不遜の侵攻作戦に對し、幾度か前線同胞は血の防波堤を築き、我々は悲憤を胸に秘めて營々戦力を養ひ、今日あるを期して來たのである。「今にみろ」と——前線将兵は目に餘る敵の跳梁化地剛太踏みながら戦機至るの逞きを歎じ、統後の生産陣また自らの造り出す新銃機の出動が威力を發揮する日の至らざるに心を痛めてゐたのである。

一瞬、神氣發して戦機車に坐る。我々の期待は決して裏切られなかつた。「胸がすいた」食欲を下げた」といつただけではないひ見らない。「やつたぞ」「戦友相撲して泣くものゝ氣持、それがあの戰果の日本軍の一億の心情である。街ゆく人々の顔とも、工場で施設を開拓する人々の顔にも、鎌山古岩盤と敢組む人々の顔にも、まだ野良に立つ人々の顔にも、いひしれぬ明るさが感じられるやうになつた。「やねばやれぞ」「やるぞ」——努力が報いられたのだといふ戦ひ勝つた喜びと自信とが、今日の生活に張りと與へ、明日の勤労に希望と與へたのである。改進轉移への希望の明るさである。恐らくこの明るさは日本だけの明るさではなかろう。日本と共に米英蘇連の共同戦争に協力と共にしつゝある大東亜十億の明るさであり、遠く歐洲に運動的な試練と戦ひつゝある盟邦ドイツ國民への明るさでもあるに違ひない。

必勝の信念をはつきりと我々の胸に刻み込んだこの大戦果

のよつて來るところは何であらう。大御稟威によることよりであるが、寡を以て衆を破る日本兵法の妙義が戦機に投じ、決死必勝を期する卓抜せる統帥の妙策と相俟ち、前線將兵の生死を超越せる體當り攻撃によつて遺憾なく發揮されたものといふことが出来る。

「見敵必殺」の一念に燃え、荒天を冒しても敵機動部隊を求めて逃さぬ偵察機の殊勳、群がる敵直衛機の攻勢を駆散らして血路を拓いた戦闘機の勇戦、猛烈な敵防空彈幕の中に要機もろとも肉彈となつて敵艦に突込んだ攻撃機、基地にあつて三晩四日も不眠不休で働きつづけた不撓不屈の整備兵の奮闘、さては基地建設に協力しつづけた現地住民の献身的活動等々、數へ上げれば切りがない。皇軍の傳統、日本精神の精髄が結晶としてよくこの大戦果を生み、それはまた神州護持の誓ひも固く、敵の空襲に果敢に戦ひ抜いた沖縄、臺灣、比島等における軍官民一體の防衛精神に負ふところも大きかつたのである。わけても特筆されねばならないことは、今度の作戦には陸軍雷轟機も出動して、陸海、真に一丸となつて勇躍奮闘してこしかしこの大戦果は、さきにも述べたやうに第一線の勇戦活躍に俟つばかりではない。實に銃後生輝陣、否、一億国民の血と汗の努力、結晶の大戦果なのである。かゝる優秀な飛行機を數多く送り出した飛行機工場に働く人々の涙ぐましい

勞苦に直接負ふところはもちろん大きいが、これを造り出すために必要な石炭や礫石を掘り、これを運ぶ人々、その人々に食糧を供給する農家の人々、また飛行機に限らず、あらゆる兵器や船や、國民生活になくてはならぬ數々のものを造る人々が、みんなそれ／＼無理に無理をして頑張つた甲斐あつての総合戦果なのである。攻勢轉移のこのきつかけをつくり得たのは、いはゞ一億の勤労戦、生活戦が齎した戦果、一億憤激の戦果ともいへる。

それだからこそ、あれだけの損害を敵に與へることも出来たのである。敵が太平洋兵力の片腕とも頼んでゐた虎の子機動部隊の過半を失つたことは、敵にとつても大きな痛手であつことは想像できるが、敵もまたさるものである。こゝで息もつかせず、新手機動部隊を動員して、強引に比島めさして突込んで來たあたり、戦意いよいよ悔るべからず、決戦様相はいよいよ本格的となつて來た。

来る十一月七日の大統領選舉を控へて、この惨敗を招いたルーズベルトとしては、どんなことをして比島奪回の政略的作戦を強行する決意を固めてゐるであらうし、あの臺灣沖航空戦におけるわが損害が補給されぬうちに、空の間隙を狙つて目的を達成しようといふのが肚の裡であらう。

それだけに油斷は出来ない。敵もこちらの補給が完了しな

いうことに、一日、半日の時を焦つて追撃戦に出て來てゐるのであるから、我々も一日、半日を争つて、戦力を補給擴充して、比島に延ばして來たマックアーサーの手腕を根本からへし折つてやらねばならない。日本死力をつくしての補給と生産のつばのせり合ひだ、かくして第二の決戦の火蓋は閉く。現代戦は決戦に次ぐ決戦の連續である。決戦は一回限りではない。敵の大援勤部隊を二回だけ殲滅すれば、それで萬事解決されたといふやうな生易しい性質のものではなく、今回のやうな激戦、否それ以上の激戦を敵が届服するまで繰返し繰返し敢行することによつてのみ、戦争に主動的地位を擅むことが出来るのである。

これを思ひ、あの敵の戦意と作戦企圖を思ふとき、大戦果に醉つてゐたりする秋ではない。これからが勝負だ。今回の勝利は決戦序の1の戦果であつて、本格的の決戦は實にこれからなのである。敵も全力を擧げて乗りかゝつて來た。實に容易ならぬことである。

戦機、刻々と比島方面に進ずるとはいへ、今後の決戦を敢行すべき時期と場所が何處に選ばれるか、もとより一に統帥の胸中に有することである。我々の窺ひ知ることの出来ぬところであるが、我々は精強神武の皇軍の至妙なる用兵作戦に絶対の信頼を寄せるとともに、皇軍をして十分なる戦果を收め、決戦をして見事な完勝を以て終らしめるため、必要な飛

行機、その他の兵器の増産に一意努力を傾注すべきである。

あの輝かしい大戦果の陰には尊い犠牲が幾多あつたことを我々は決して忘れてはならない。未歸還機三百十二機、我もまた嘗てない大きな犠牲を出したのである。しかし勝機を掴んだ前線は敵の新たなる攻勢を控へて士氣いよいよ昂揚必勝の氣概すでに敵を呑む。

前線の銃後に期待するものありとすれば、一日も早く、一時間でも早く、敵の翼の大群が内地の工場からどつと騰翼をつられてやつて來てくれるだけであらう。五日間に三百機失つたのなら五日間で三百機造つて送らう。いや六百機にし、九百機にして送り届けねばならない。

勝負はかかる戦力の補給にかかり、生産にかかる。しかもその時にかかる。皇國將來の運命を決する戦闘の火蓋切られるこの秋、飛行機もいくら来月の二千機や來年の五千機を約束してみたとも決戦には間に合はない。今日の百機、明日の二百機こそ、こゝ十日、二十日の千機こそ、前線の活躍を左右し、勝を決する鍵となるであらう。

あの臺灣沖航空戦における前線銃後一體の勝利の戦訓を生かし、「造れば勝つ」の必勝生産魂に徹して、たゞ一億、追撃増産への邁進あるのみ。一億が眞に戦争一本になつて頑張り抜くなれば、勝機正に我にあり。それこそ尊い忠魂に對し應へる道であり、聖慮を安んじ奉る唯一の道である。

# 太平洋決戦の火蓋切る

大本營海軍報道部

## 敵機動部隊の臺灣來襲

去る八月のハワイにおける太平洋作戦會議以来、ケベックにおける第二次米英會議、ワシントンにおける作戦會議と、相次いで對日作戦の協議に没頭しつゝ頻りに比島奪還を鳴物入りで放言し來つた敵米國は、サイパン、ニヤン、大富島のマリアナ諸島占領の勢ひに乗じて、比島への強引なる侵攻を指向しつゝあつたところ、十月十日に至り、敵機動部隊は突如、沖繩島、宮古島、奄美大島等の南西諸島に侵襲し、引續いて臺灣東方海面に現はれ、十一日以來、連續的に臺灣各地に大舉猛爆を加ふるに至つた。

すでに隱忍久しく、満を持して動ぜざる比島の我が陸、海、空の精銳大軍を専門に、「我が内線深く侵入し來り、遂に琉球、臺灣にまで暴れ込むとは、傍若無人も甚だしき傲慢」といはんか、大膽不敵なる挑戦といはんか、まことに身の程を知らざる驕敵といはねばならぬ。久しく嵐の前の沈黙を守つてきた我が海軍も、流石に堪忍致

の緒を切つて、こゝに憤然起ちあがり、陸艦また、帆を決して飛び上つた。そして我が陸、海、空、打つて一丸となつた火の玉の如き體當りによつて、物の見事に驕敵の頭上に鐵槌の痛打を浴びせ、十二日より十六日までに臺灣ならびにルソン島東方海面において敵艦五十七隻を撃沈破して、敵兵力の過半を潰滅するの壓倒的大戦果を收めたのである。

轟擊沈 航空母艦 十一隻  
戰艦 二隻  
巡洋艦 三隻  
巡洋艦（くは駆逐艦） 一隻  
巡洋艦（くは駆逐艦） 八隻  
戰艦 二隻  
巡洋艦 四隻  
飛行機 未詳三百十二機

擊破 航空母艦 その他の火薬、火薬を認めたる  
巡洋艦 三隻  
巡洋艦（くは駆逐艦） 一隻  
戰艦 二隻  
巡洋艦 二隻  
飛行機 未詳三百十二機  
(二) 我が方の損害  
もの十二隻を下り  
(基地における撃墜を含まず)

## 比島奪還の野望を露呈

ルーズベルトも、ニミッツも、マックアーサーも、それに

チャーチルまでが比島奪還作戦を頻りに調査復査して來り、從つて敵の當面の太平洋作戦の主たる目標が、比島攻略に覺かれてゐることは極めて明白であり、ハワイ作戦會議の終了に當り、ルーズベルトが「アメリカの當面の戦争目的は、フィリピンを奪還して、日本を無條件降伏せしめることにある」と記者團に語つた言葉よりしても、敵の企圖は推測するに十分である。そして敵の比島奪還の目的が日本と南方占領地帶との補給連絡路線を遮断して、日本の戰力の源泉を手にせんとするにあることとまだ、極めて明瞭である。このことはニミッツが、太平洋において勝利を收める何よりの先決條件は、日本に對する海上補給路を掌握してしまふことにある。この海上支配が確立されたならば、反猶太軍は日本本土に對する貿易の流入を阻止し、他方南方占領地帶に對する日本本土からの兵員ならびに軍需品の供給をも遮斷することが出来る」

と語つたことや、さらに別の機會において、「日本を打倒するためには、必ずしも日本本土への上陸作戦を

必要とするものではない。日本本土は今や食糧に困つてゐるが、その食糧は専ら海外に依存してゐるから、海上輸送の封鎖により日本國民を飢えさせて、敵等の絶縁を早めることは、決して不可能ではない」と述べた言葉などを総合しても明らかなるところである。そこで敵は、

一方よりの戦争資源ならびに食糧の日本への流入を阻止し、

二、また日本よりの兵員、兵器などの南方占領地域への補給を遮断するため、是が非でも比島を強引に奪回せんと企圖してゐるのであつて、臺灣東方海面において叩き潰された敵は、十七日にしてやへ太平洋の軍事幹線と目される極めて優勢な機動部隊を以て、輸送船團を伴ひ比島出部のレイテ島に向つて、侵襲に來り、比島奪還の野望を明らかに露呈するに至つた。

## 敵は短期決戦を企圖す

比島にしづく、臺灣にしづく、琉球にしづく、これを國防上よりみれば正しく日本本土防衛線上の要點であり、從つてこの内線に突入するからは、敵もまたもとより莫大な犠牲を覺悟して來り、いかに敵は國に乘つてゐるとはいへ、敵もまたしかく簡單にその企圖を成功せしめ得るとは自認れてゐないであらう。しかしそれをしも敢へて我が内かところに飛込んで來て、我に挑戦し來るのは一體なぜであらうか。

その理由としては、まづ第一にギルバート、マーシャルへ

と最も出し來つたニミッツ部隊が、最近サイパン、ニヤン、大富島のマリアナ諸島を手中に收め、さらに引續きペリリュー、アンガウル兩島に上陸して、西カロリン群島への侵出に一應の成功を得るとともに、これはマクアーサー部隊はソロモン群島を北上、ラバウルの堅壁を完全包囲して、ヨーギニア北岸の諸要點を奪取し、遂にビアク島を飛石として長

アラフラ海の據點をなすモロタイ島の上陸にも成功したこ

とである。そしてかくの如き太平洋の作戦基地を著るしく前進せしめ得た敵としては、マックアーサー部隊がアラフラ海を隔てる僅か六百キロの比島ミンダナオへの歸り路を奪うることは、もとより必然のことであり、またパラオ諸島の一角に地歩を占めるに至つたニミッツ部隊が、比島或ひは臺灣を占領して、太平洋戦局を支那大陸戦局に連結せしめんと企圖することもまた蓋し必然のことである。

次ぎに第二の理由としては、ヨーロッパ戦局が反権軸陣営にとつて豫想外に有利なる展開をみせ、たとひ米英對ソ聯間に深刻複雑なる利害關係の對立相剋が伏在してゐることはないが、とにかく米英としては太平洋攻勢に主力を傾注し得る新段階を迎へたことである。

さらに第三の理由としては、かくの如き太平洋戦局ならびに歐洲戦局の好轉が米英、特に米國內の人心に戦局樂觀氣分を醸成せしめており、その結果、國民の戰爭努力が弛緩せんとする傾向もあるので、従つて戰争指導者としては、國民の戰意冷却せざるうちに一刻も早く戦争を終結せしめんとの意圖が動いてゐることである。

### 敵の對日包圍總攻擊態勢

敵はかくの如き理由から頻りに短期決戦に出で、對日包圍總攻擊態勢を押し進め、我に向つて挑戦し來りつゝある。

全商的展開のためには、敵はこの北方進攻作戦をも本格的に積極化するであらうこととはもとより豫期せねばならぬ。一方、英國は東南アジア反権軸軍司令官マウントバッテンの司令部をニューデリーからセイロン島に前進せしめ、また東洋艦隊司令長官にはソマーピルに代るに、本國艦隊司令長官の要職にあつた作戦の名將フレーザーを据え、歐洲戦が終れば無慮六百隻の英國艦艇をインド洋に新たに轉用すると豪語してゐたが、チャーチルは先般の議會において「英國艦隊の主力は既にインド洋に廻航された」と演説してゐる。

そして果せるかな、この英國インド洋艦隊は、米

機動部隊の比島侵襲作戦に呼應するが如く、十九日に至るや機動部隊をもつて、ベンガル湾カーニコバル島に來寇し來つたが、わが航空部隊はこれを邀撃、敵航空母艦及び駆逐艦各一隻を擊沈、戰艦及び驅逐艦各一隻を擊破した。

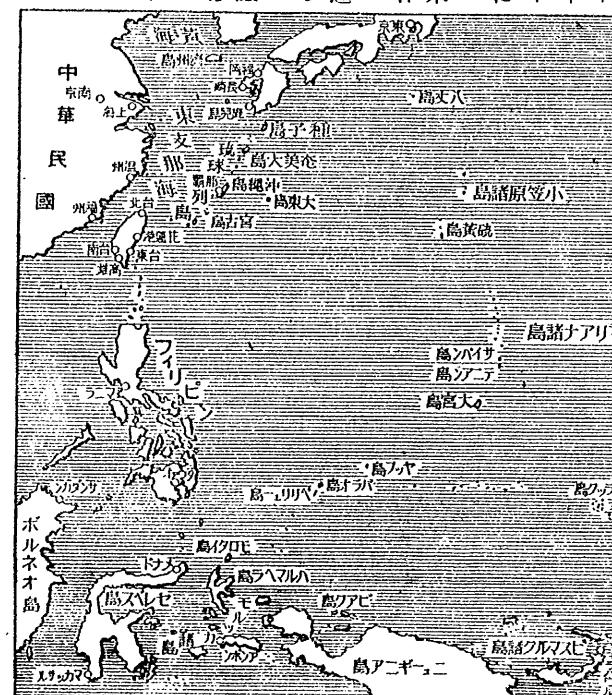
さらに支那大陸には、スチルウェルの在支米地上機械化部隊あり、歐洲歴戦の青年將軍ラメーの率む長距離専門の在支第二十航空部隊あり、シェンノート麾下の在支第十四航空部隊あり、大陸における米軍の勢力また絶対に侮り難きものがある。

### 勝敗の鍵は一億の手中にあり

かくて日本は、今や太平洋ならびにインド洋から

アメリカ太平洋艦隊司令官ニミッツはハワイの據點を既にマリアナに進め、スブルーアンスの第五艦隊、ハルゼーの新編第三艦隊のほかに、空母を主力とするミッチェルの第九十八機動部隊、ならびにターナーの水陸兩用部隊などの膨大なる兵力を擁して、既にマリアナ、西カロリンにまでもこの前進基地を推進して、強力なる中部太平洋進攻作戦を展開してゐた。そしてこのニミッツ攻勢の指向するところは、もとより比島、臺灣方面に重點が注がれるであらうことは想像に難くないが、さりとて果して同方面に現はれるか、或ひはまた琉球に現はれるか、小笠原に現はれるか、或ひは直接日本本土に現はれるか、毫末も豫斷は許さぬところである。今回琉球、臺灣方面に現はれたのは、ハルゼーの第三艦隊とミッチェルの第五十八機動部隊であつた。

さらに西南太平洋反権軸軍司令官マックアーサーは瀕洲を根據地とする有力なる麾下陸軍部隊に加へて、キンケイドの第七艦隊を基幹とし、これに濠洲艦隊ならびに舊蘭印艦隊を合せた兵力を擁して、ソロモン群島を北上、ミューギニア北岸を西進して今やビアク島、モロタイ島を跳躍臺として明らかに比島の奪還作戦を指向してゐる。



たとひ戦線が兩國國境に立至らぬ前に抵抗を中止したとして

も、反舊軸軍は兩國を完全占領するまでは進撃を続ける」と  
裏語してより、また日本を完全占領することを前提とし「日本民族を地球上から抹消する」と、敵は既に全世界に向つて  
残虐極まりなき野望を公然と揚言してゐるのである。従つて、を生産するための「時」を経後に齋さんとして、悲壯にも「内  
われ／＼日本民族は星紀三十六百年を最後として、遂に地球上から死滅するか、或ひ逆に敵を撲滅して世界を指導するかのいよ／＼最後の危急存亡の關頭に直面するに立ち至つたのである。否、われ／＼はどんなことがあつても絶対に勝たねばならぬ。何故なれば、畏れ多くも大日本帝國は天皇陛下の御國士であり、われ／＼一億國民は畏れ多くも皇室を御守り申上げねばならぬ赤子であるからである。

ソロモン群島の最南端ガダルカナル島をも席巻した我が軍が、その後僅か一年有半にして戦局逆轉し、遂に我が本土防衛内線の要衝たる比島、臺灣の周邊にまで押し返されるに至つたのは、今さらいふまでもなく我が物量、とりわけ飛行機の數が敵のそれに壓倒されたからにはならぬのである。

従つて飛行機が敵に對抗し得るに足るだけの數さへあれば、

斷乎、驕敵を擊退して大勝を收め得ることは、現に臺灣に來襲せる敵機動部隊の大軍を皇軍が邀撃し、これに殲滅的打撃を與へ、算を劃して潰走せしめた事實が何より雄辯に物語つてゐる。

問題は飛行機だ。飛行機さへあれば立派に勝ち得るのだ。

北はアンツ島に、南はギルバート島に、マーシャル島に、サ

イパン、デニヤン、大宮のマリアナ諸島に、壯烈悲慘なる全員

戰死を遂げた陸海軍ならびに在留同胞たちは、この飛行機

を生產するための「時」を経後に齋さんとして、悲壯にも「内

伊那、テニヤン、大宮のマリアナ諸島に、壯烈悲慘なる全員

戰死を遂げた陸海軍ならびに在留同胞たちは、この飛行

害を與へた。

しかしこの戦闘においても、敵艦と差違にて敗つた我が荒駕の如何に多かつたことか。

上二、十三日の我が荒駕の猛攻によつて、敵に與へた人員の損害は實に一万三千人、飛行機の損害六百機といふ大戦果を挙げたものとみられる。

轟沈　大型空母の乗員は大體千五百人、中型空母の乗員はだいたい千人として、今向轟沈した大型空母三隻で四千五百人、中型空母四隻で四千人、驅逐艦一隻の乗員三百人として一隻轟沈で三百人、これを合算すると、敵艦轟沈による敵の喪失人員は合計約八千八百人である。

撃破　假りに艦乗組員の三分の一が艦内

爆破で死傷したものとして計算すれば、撃破空母二隻のうち一隻を大型一隻を中型とし、大型空母一隻撃破による人员的損耗は五百人、中型空母一隻撃破による人员的損耗は三百人、駆逐艦一隻は乗員千五百人として一隻撃破による人员的損耗五百人、巡洋艦一隻は乗員八百人として、これが撃破による損耗は二百五十人であり、艦種不詳のものは空母、駆逐艦、巡洋艦、驅逐艦などの平均數一隻となつた。

ところが、かくて臺灣東方海面において散々に叩かれ、潰走する第五十八機動部隊を救助せんとして、敵は別動の機動部隊を比島東方海面に北上せしめ來つた。そしてその途中、比島方面の我が航空部隊制のため、十五日朝マニラに對し艦載機戦爆連合をもつて空襲を加へ來つた。

しかしこれより先、我が索敵機は既に敵機部隊を捕捉し、基地航空部隊は指揮官機自ら先頭に立つて速早く進撃、これに必中弾を浴びせた結果轟沈、航空母艦一隻、墜落、航空母艦三隻、駆逐艦もしくは巡洋艦一隻、墜落三十機以上の大戦果を收め、敵機動部隊北上の企図を破碎したが、我が方また毎い未駕戦を出した。

十月十六日　かくて我が陸、海航空部隊は、十一日以來、臺灣東方並びに比島東方海面における續く激戦において、十六

だいたい一隻七百人内外として、十一隻で

七千七百人、これが撃破によつてその三分の一の人員に損耗を蒙れば約二千六百人である。

よつて敵艦撃沈による人员的資源の損失は、合計一万二千九百五十の多きに上るわけである。

艦載機　大型空母の搭載数を百機、中型

空母の搭載数六十機とすれば、大型三隻、中型四隻の撃沈によつて合計五百四十機を海中に居られ、また空母撃破による艦上機の損耗は搭載數の約三分の一として、空母二隻のうち大型一隻で三十機、中型一隻で二十機として五十機が被損し、これらを累計すれば、敵はその艦艇の撃沈により六百機内外の航空機を失つてゐることは確實である。

十月十四日　敵は、我が猛攻にも怯まず、なほも旺盛なる戦意をもつて十四日も早朝來、艦載機延約四百五十機をもつて執拗に臺灣各地に空襲を加へ來つた後、東方海面に遁走せんとした。

これに對し我が基地航空部隊は、時を移さず悪天候を冒して追撃戦を續行、同日までに判明せる戦果に合計、轟沈沈、航空母艦

七隻、駆逐艦一隻、撃破、航空母艦二隻、

駆逐艦一隻、巡洋艦一隻、艦種不詳、十一隻といふ赫々たる武勳を樹てた。

敵は今までの太平洋島嶼侵奪作戦においては、空母勢力を集中して局地絶対優勢主義をもつて我を壓倒し來つたのであるが、今回臺灣の場合においては、我が基地航空部隊は、敵の間に乘つた艦隊勢力の近接を得て敵乎反撃に出で、さらに遁走する敵艦隊を消滅して、敵機動部隊に對する我が基

地航空部隊の優越性を遺憾なく發揮した。敵艦機は二回にわたる延約四百五十機の來襲に呼應するかの如く、支那大陸基地からもB29約百機が來襲したが、投弾せずして退去した。

十二日以後、臺灣各地上空において警戒した敵機にして、同日までに判明せるもの約百六十機である。

敗走する敵機動部隊の徹底的駁滅を期した我が陸、海航空部隊は、十二日來引續き反復猛襲を加へたが、この基地航空部隊の活躍に呼應して、わが海軍海上部隊も遂に敵乎出撃、こゝに空海協力による太平洋大決戦の前哨戦の火薬を切つたのである。

十月十五日　臺灣東方海面をのぞむちに判明せる戦果に合計、轟沈沈、航空母艦

12



開機三十機と空中戦を演じ、その数機を撃墜して敵機動部隊に肉薄、白刃戦を取る魚雷攻撃を加へ、敵航空母艦一隻を炎上大破せしめ、駆逐艦一隻を撃破するの戦果を挙げた。かくて、敵の別動機動部隊はわが猛撃に遭ひ、南方海面に避退するに至つた。

十月十六日　前日來、臺灣東方海面に現はれた新らしき敵の別動機動部隊は、十七日朝に至るや、その一部艦載機百数十機をもつてマニラ周邊に空爆を加へ來り、また一方、支那大陸より在支米空軍のB29約二十五機が臺灣高雄附近に來襲、我が制空部隊との間に激戦を交へた。

いてわが反撃に遭つてその過半數を失つた第五十八機動部隊は、南方海面に向つて敗走したが、十七日至るや、さらに敵別動機動部隊は、上陸用兵員を載せるものと判断される有力なる輸送船團を伴ひ、比島中部のレイテ島に侵入し來り、十八日午後からはレイテ島のわが陣地に對して、艦載機による爆撃と、海上艦艇からの砲撃を加へり、こゝに比島奪還作戦への野望を明らかに露呈するに至つた。

13

# 激化する帝國周邊の航空戦況

大本營陸軍報道部

## 敵の空襲意圖

大東亜戦争勃発満三年を月餘に経て、戦局の激烈さは正に我々一億の胸に迫るものである。殊に敵アメリカが無限と誇示する物量と、強襲無比と稱する初航の確保とに、太平洋上に、或ひはまた支那大陸に、帝国の周邊に戦略的要衝を求める、對日航空包囲網の完成を窺がんとして、その間、有力なる機動部隊の進撃の下、比島南西諸島、臺灣等に強引一點張りの侵攻を敢へて、その都度わが猛烈空襲が爆撃に遭ひ大敗北を喫したのであるが、これらの侵攻は、米期作戦のため、我が基地航空部隊の強襲等にアメリカの夢寐にも忘れ得ぬ日本本土空襲の急願は、その空中攻勢發起の地としての支那大陸基地を放棄しあるとは考へられない。第二十航空部隊司令であつたウォルフが最近米國に歸り、陸軍航空部隊司令部における航空資材運用の責任者の地位に就任した事實は、ウォルフの支那における豊富な経験を基盤とし、B-29の生産と補給とに重點を指向した敵米空軍の底を示したものともみることができる。

今次米機動部隊の新義東方海上への出撃にあたつて、臺灣に來襲するなど、戦意みるべきものあり、また月産百四、五十機のB-29を擧げて支那に補給し、我に挑戦するが如き、その不逞なる野望を直視し、これを破碎しなければならない。わが在支航空部隊として、支那大陸の騎兎アメリカ空軍に一大撃滅を加へ、支那全土の制空權獲得のため、より多量の飛行機が今こそ絶対に必要なのである。

焦土化による我が國民の體育出走にあることは、ふまでもなく、その目的完遂により、可及的速かなる勝利の獲得を狙ひ狂奔しつゝあるのが敵アメリカの儀らざる姿である。

## 大陸基地強化に狂奔

いま敵アメリカ焦慮の空軍總反攻であるに、支那大陸にあつては、昨年三月廿日、米國陸軍第十四航空部隊の獨立以來、その戦力増強は著るしく、さらに本年春、アメリカが對日本空襲機の花形として世界に喧傳し、宣傳好きのアメリカが未だ常て歐洲戰場にもその姿を現はさしめなかつたB-29をひそかに支那大陸に輸送し、ころB-29を主機とし、米國作戦首腦部の直轄の下に第二十航空部隊を設置する

日本本土への野望をます々大ならしめ、その戦力は輕視すべからざる勢ひを示すに至つたのである。こゝにおいて支那大陸におけるわが航空部隊は、あらゆる困難を排除しつゝ、さきに米第十四航空部隊の最大の前進根據地衛陽飛行場を占領し、續いて零陵、丹竹飛行場を陥れ、賓陽、梧州などの基地を覆滅し、敵は早くもその前進中権基地たる桂林に集結し、最後の反攻を畫策せんとしてゐるが、在支が航空部隊は敵に立ち直る隊を與へず連續攻撃を反復し、敵に策を施す術ながらしめ、殊に惡天候を冒し、成都を襲ひ、B-29に対する先制奇襲攻撃を加へて大戦果を挙げるなど、その勢ひは正に支那の直轄の下に第二十航空部隊を設置する

全土をその開拓下にさせんとして、破竹の

## インド方面戦機動く

インド方面における米英空軍の兵力は逐次増加しつゝあることは確實で、彼等はガジス河の決済、ベンガル地盤に、コックスバザー、チッタゴン、フェニニー、アコーラ、インバール、シルチャ、デズブル、デンスギア、タッカ、ジェソール、カルカッタ等、百以上を算する飛行場を有し、いづれも多數の飛行機、雷波兵器などによる有機的連繋の下に、この地をインド防衛の第一線とし、立體的大航空戦を完成し、我に挑戦せんとする勢ひを示してゐる。今その戦力をみると、米第十航空部隊は戰闘機P-51を主力に、P-38、P-40などを機数一百機を超えるとし、爆撃機はB-25を主力とし、B-24、或ひはB-29の一部を合せ、その數は二百機を數へられ、これはか

をもつてコヒマ、インバール方面の地上作戦に、在支米空軍の一部を含む米空軍主力をもつて怒江、北緯方面の地上作戦に協力しつゝ、天候氣象の好機に投じてわが要衝に來襲するなど、熟練なる出撃を繼續する戰意もまた觀測できない。航空軍の出撃は、雨期の間は金穀的には低調であったが、今や雨季明けとなり、この地盤にも漸く戰機動かんとし、印緬國境を中心とし、さらにはベンガル地盤における敵航空部隊の活動が想察せられる。

## 虎視眈々北邊を窺ふ

翻つて太平洋を注視しよう。北アラスカ、アリューシャン方面においては、夙に米國陸軍第十一航空部隊を設置し、キスカ、アッヅ、兩島の奪回に成功するや、直ちに航空基地の設定推進を圖り、當時この地域の哨戒はもとより、B-34を以て廣、わが北島に來襲したが、さらに最近に至つては、機種は次第に大型化し、B-25、B-24爆撃機を使用しはじめ、さらに晩間にPB-2Y

約百機と列斷される。

ビルマにおける敵空軍は、英空軍の主力

15



第三國民兵兵籍異動屆  
總指揮(現住地變更)

一 勇助  
萬何  
新何  
二勇助ワ生ジタル年月日 昭和年月日  
三木人ノ氏名及生年月日 氏  
年月日生  
右ノ通商助ワ生ジタル年月日及肩出候也  
本籍地 都留郡市原町村字番地  
現住地 何  
戸主 氏  
名印  
潤善文 氏  
八代伊人  
何勝義屋司令官宣  
本院は兵庫納入の手續を定め  
一  
勇助  
萬何  
新何  
二勇助ワ生ジタル年月日 昭和年月日  
三木人ノ氏名及生年月日 氏  
年月日生  
右ノ通商助ワ生ジタル年月日及肩出候也  
本籍地 都留郡市原町村字番地  
現住地 何  
戸主 氏  
名印  
潤善文 氏  
八代伊人  
何勝義屋司令官宣

たので、特に注意して下さい。即ち届出の責任者は戸主であり、もと届出は本籍地の隊員監視官令（兵事部長）であり、その中間に本籍地の市町村長を経由しなければならないのです。戸主はその家族の男子中「前條ノ規定ニ該當スル者」即ち「徵兵終決済分ヲ經サル第二國民兵」となつた者はあるときは、「之ニ該當スルニ至リタル日ヨリ三十日以内ニ即ち第二國民兵となつた日、換言すれば、満十七歳になつた日

ル常國外旅行(在留)届ケ達セズ  
スコトヲ要セズ  
この條文は第五十條の説明のところであつて述べた通り、船員はその身分を説明するためこの届書を出さねばならないのです。  
附則第一條 本令ハ昭和十九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
この規定は十一月一日から施行することを示すもので、從つて、十一月一日以後満十七歳未達する者、即ち昭和二年十月十一日以後に生れた者は、遂にこの規則を適用されるのです。  
附則第二條 戸主ハ其ノ家共（戸主ヲ含ム）中本令施行ノ後現ニ第五十條ニ該當スル者ルトキハ第五十條ノ二ノ規定ニ準ジ本令施行ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ到着スル如ク之ヲ出ヅベシ但シ昭和十九年十一月三十日より後ニ徵集並勧業等出スベキ者ニ付テハ本店出之ヲ要セズ

第五十條ノ規定ニ該當スル者

右の規定をシナルト、通規シタルコトハ、印明ス  
海軍少佐前田氏、名印

第六十五條  
二第一項ノ規  
定ニヨリ本令  
施行ノ日ヨリ  
三十日以内ニ  
何時何處用合意  
段 本人 氏 年 月 日  
右及届出候也 昭和 年 月 日  
又ハ官廳名 何々  
就樂園部  
本人現住地 何々  
一本木新宿  
第六十五條  
二第一項ノ規  
定ニヨリ本令  
施行ノ日ヨリ  
三十日以内ニ  
何時何處用合意  
段 本人 氏 年 月 日  
右及届出候也 昭和 年 月 日  
又ハ官廳名 何々  
就樂園部  
本人現住地 何々  
一本木新宿

徵兵終決處分ヲ 補サル第二國  
民兵ニシテ船舶國籍證書ヲ有  
スル船舶ノ船  
員タルモノハ  
一、海軍軍屬就職居及海軍軍  
キ海軍軍屬就職居及海軍軍  
退職届ノ様式左ノ如シ  
(用紙透空)

届出をする必要があります。但し、明年徵兵検査を受ける者は届出の必要はありません。

附則第三條 本令施行ノ際現ニ退職シタルトキハ退職ノ日より三十日以内ニ前項ニ準ジ軍軍屬退職届ヲ差出スベシ前項ノ規定ニ依リ差出スベ

三十日以内ニ海軍軍屬職務ヲ直接不籍地ノ縣區司令官ニ差出スベシ  
前項ニ該當スル者海軍軍屬ヲ

ニシテ海軍軍属、海軍文官、同  
待遇者及支替シテ海軍ノ勤務  
ニ服スル者ヲ謂フ(以下同シ)  
タルモノハ本令施行ノ日ヨリ

卷之三

適用ヲ受クル者ニシテ朝鮮ニ  
項ノ規定ニ准ジ届出ヅベシ

證明書ヲ添へ左ノ様式ニ依リ  
書面ヲ以テ本籍地ノ市町村長  
ヲ經テ本籍地ノ聯隊區司令官  
ニ届出ヅベシ 但シ戸籍法ノ  
事項ニ變更アリタルトキハ前

官廳又ハ管海  
官廳ノ事務ヲ  
行フ市町村長  
若ハ領事官ノ  
七  
八  
九  
右及相應也  
一年 月 日 本人 氏 名印  
何處隊區司令官殿

タル者ハ其ノ	就職又ハ雇入	ノ日ヨリ十四	四 就職(履)ム年月日
自以內ニ管轄	五 職 名	六	第五 第六
一等運務士、二等運務士、搬運員長、	雷鉄製鋼所事務長、水火夫、水火夫、無線	海技免状ヲ有スル者等、	雷鉄製鋼所事務長、水火夫、水火夫、無線
ノヨリ認定シタル學校又ハ水陸講習所ノ卒業シタル者ニ在リ	船夫、火夫、火夫、油炙、蜡燭	ノヨリ認定シタル學校又ハ水陸講習所ノ卒業シタル者ニ在リ	船夫、火夫、火夫、火夫、油炙、蜡燭

兵、豫備兵、補充兵又、國民兵	前項ノ規定ニ依リ就職又ハ履
ニシテ船組國籍證書ヲ有ス	船員就職(船入用)
一 本 載地	都道府縣都市區町字番地
二 現住地	何 々 々
三 職業、役職、 官職、等級、 姓名、氏名	

ル第二國民兵ニシテ船團國籍證書ヲ有スル船舶ノ船員タル者ニ之ヲ漁用ス  
〔参考〕第六十五條ハ二歸休定ムル當該地域ノ市町村長ニ該當スル者ヲ經由シ在留地ヲ管轄メル兵事部長ニ届出ヅベシ

から數へて三十日以内に届出で  
なければなりません。  
第五十條ノ六 第六十五條ノ二  
ノ規定ハ敵兵終返國分ヲ經サ  
在留スルモノ又ハ臺灣、關  
東州、南洋群島、滿洲國、支  
那、香港若ハ澳門ニ在留スル  
者ニ在リテハ陸軍召集規則ノ

卷之三

卷之三

## 昭和二十年度 陸軍豫科士官學校生徒召募

陸軍では、十月十八日附の官報で告示されたやうに、防空關係の陸軍豫科士官學校生徒を召募することになりました。この召募には、二つの大きな特質があります。すなはち、その一つは全員航空であること、その二つは學科の筆記試験を廃したことです。なぜ全員航空生徒にしたかといふと、いふまでもなく甚烈な大東亞戰爭の戦闘方式は皆さんご承知のやうに完全な立體戦と化し、いかに精緻な陸海軍部隊をもつてゐてもいかに優秀な地上と海上の各種新兵器を裝備してゐても、制空權のないところ、まず戦ひの勝目はないといふほど、飛行機の勝敗に及ぼす影響が甚大、否、むしろ飛行機のみにより戦ひの決がつ

くほど、唯一無二の不可缺兵器となつたからです。地上、海上兵種もより必要ですが、目下緊迫してゐる情勢に鑑み、何はさて措いても必要になります。飛行機とその搭乗員のものは、飛行機とその搭乗員の飛躍的擴充強化です。このこと

は、このたびの渤海東方海面においての胸のすぐやうな大戦果をみてもお分りかと思ひます。

あの花々しい戦果こそ、御核威の下、弱冠二十二、三歳の空の現役青年部隊長の盡忠の精神から發してゐるのです。空の現役

の若駆將校こそ、光輝あるわが神州の擁護者であり、米英撃滅の先駆者といつても過言ではないのです。このために陸軍で

は、このたび思ひ切つて空の将校生徒のみを召募することにな

つたのです。

次ぎに、なぜ學科試験を廢したかといふと、簡潔して

20

學力と輕視したの

ではなく、否、むしろ豫科士官

学校の教育期間の短縮に伴ひ、

ます／＼學力を重視するために

は、學科試験はひ存續せしめ

ることについても慎重検討を加

へたのです。しかしながら、國

秀者がかへつて身體の弱い者と

しなればならぬ必要がありま

す。しかし陸軍の將校生徒採用に依然學科試験を実施します

と、志願者に對して、體力的にも

非常な無理な負担をかけ、時に

は熱心のあまり無理をして、儀

式な無理な負担をかけ、時に

は作業能率を最高度に發揮せ

らねばならぬ必要がありま

す。

陸軍の將校生徒採用に依然學科試験を実施します

と、志願者に對して、體力的にも

非常な無理な負担をかけ、時に

は熱心のあまり無理をして、儀

式な無理な負担をかけ、時に

の教育を受けます。

(一) 水雷關係希望者

海軍水雷學校(須賀)に入校

し、魚形水雷に関する學術や

技術の教育を受けます。

(二) 機雷關係希望者

海軍對潛學校(須賀)に入校

し、機械水雷、爆雷、水中測

的、掃海などに関する學術や

技術の教育を受けます。

(四) 信號、氣象、操舵

關係希望者

海軍通信學校(須賀)に入校

し、航海運用信號、見張、

氣象、防毒などに関する學術

や技術の教育を受けます。

(五) 電測、暗號關係希望者

希望者

海軍通信學校(須賀)に入校

し、電波探信機や暗號術

などの學術や技術の教育を受

けます。

(六) 潜水艦關係希望者

希望者

海軍潛水學校(須賀)に入校

し、潜水艦の操作や技術の

教育を受けます。

(七) 球形兵

衛生兵

傷病者の看護、調理、手術の

採用者はすべて横須賀海兵團

に入團し、いはゆる海軍軍樂

隊となります。

(八) 炮兵

被服、糧食、需品その他一般

経理事務、和洋食調理が主な

役目です。主計兵には衣類、

経理の二方

面があつて、衣類の方は主と

して右の職務に從事します

が、初めの間は誰でも一様に

炊事に從事することになつて

ゐます。

水雷、水中測的など、潜水艦に

關する學術や技術の教育を受

けます。

(七) は會計經理方面を希望

する者は、海軍經理學校(東京)

に入校、主計科に轉科する途

もあります。

少年飛行兵(種飛行後科練習生)

航空機の操縦と機上作業が

主な役目で、航空決戦下、最も

重要な兵種です。

採用されると、すべて海軍練

習航空隊に入隊して特別の教

育を受けます。

機関工業の作業が主な役目で

す。

この兵種は水兵とともに海軍

における主な兵種で、海軍團

教育終了後、試験の上海軍工

機學校(須賀)に入校し、種々

の専門の教育を修得して艦船

部隊に配員されます。

工作兵(工作術金、木工練習生)

最初から海軍工作學校(須賀)

招考に入校し、約二月の基礎

教育の後、金屬工業、木工

業、施設工業別に特殊の教育

を受け、鋳造、機械、仕上、

板金、鑄造、熔接、木具工業、

建築土木関係の工業や潜水作

業などに從事し、陸戰隊で

は工作隊員として活躍しま

す。

儀式、禮式のため、または士

氣を鼓舞するため、その他國

市(區)役所または町村役場で問

合せて下さい。

なほ不審なことがあります。

でも最寄の海軍人募部または地

または町村役場に差出せばよろ

しい。

検査期日、場所などの詳細は

志願者の年齢と學力

試験

志願者の年齢は、各兵種によ

つて定められ、採用の年、すな

は昭和二十年十二月一日現在

で計算するもので、詳細は左表

の通りです。

學力試験は、讀書、數學の二

科目について、國民學校高等科

修了程度で行はれ、軍樂兵に對

しては適性検査も行はれます。

試験成績のほかに、學校の成

績が加味されますから、通信簿

、軍樂部員、青年學校手帳や各種

の褒美狀を持つてゐる者は必

ず検査場に持参して、優等旨

の閱覧を受けることが必要で

す。

(海軍)

經理の方は別に會計だけ

を掌るのでですが、これは經理

學校卒業を卒業してからの

ことです。

少年通信兵

水兵、整備兵、機關兵、工作

兵、衛生兵、主計兵のうちで、

年齢が十四年八月一日以上十

六年未滿(至昭和六年十二月一日出生の者)

の者は、入團後練習兵

と稱し、海兵團で約二箇年間

訓練、軍事學、普通大學學物

理、供養、機器歴史、地圖、英語など

の教育を受けた後、各學校に

練習生として入校し、それぞ

れ専門の教育を受け、卒業後

は特修兵と稱され、各種の重

要配置につきます。

方流軍人募部に問合せれば分り

ます。

[註] 年齢十六年未滿の者は、本編

である兵種には、前記の少年

兵、衛生兵、主計兵、工作兵

、水兵、整備兵、機關兵

、少年通信兵、主計兵

、水兵、整備兵、機關兵

## 國民登録の實施

二歳以上六十歳未満、女子なら

です。

問 既婚者でも今は配偶者の

だいたい十月二十五日頃までに

國民登録指道員が各世帯に世帶

票を一枚づゝ配ります。世帶主

は自分の世帯に属する人々の氏

名などを老若男女の別なく全部

漏れなく記入し、その中で申告

せばならぬ人の有無を明記し

ます。

問 今回の國民登録で前回と

異なるところはありません

か。

問 これらの人々は従事中の

人、國民義務手帳の所持者、學

生、生徒であつても漏れなく

申告の義務があるのでですか。

答 もちろん未婚の女子と同

様に申告の義務があります。

問 今回の國民登録で前回と

異なるところはありません

か。

答 大いにあります。例へば世

帶裏が新たに設けられたこと、

國民登録票を一般用と學徒用と

に分けたこと、一部の人たち

と現役の陸海軍軍人、廢省中

と、

主なもので。

問 世帶の定め方は……

答 だいたい家庭用品購入通帳

の有無を以て一世帯と認め、一

世帯主

を他の一般の人たちの申告方法

と異にしたこと……などがその

主なものです。

問 もつと詳しく説明下さ

い。

答 葉裏に豫告の申告方法

を他の一般の人たちの申告方法

と異にしたこと……などがその

主なものです。

問 申告せねばならない人の

範囲は前回通りでせうか。

答 えうです。男子ならば満十

歳までに生れた人です。

問 申告期日は何日で

ですか。

答 一月三日から昭和七年十一月二

日までに生れた人です。

問 申告の義務があるのです。

答 申告の義務があります。

問 今回の國民登録で前回と

異なるところはありません

か。

答 大いにあります。例へば世

帶裏が新たに設けられたこと、

國民登録票を一般用と學徒用と

に分けたこと、一部の人たち

と現役の陸海軍軍人、廢省中

と、

主なものです。

問 世帶の定め方は……

答 だいたい家庭用品購入通帳

の有無を以て一世帯と認め、一

世帯主

を他の一般の人たちの申告方法

と異にしたこと……などがその

主なものです。

問 申告せねばならない人の

範囲は前回通りでせうか。

答 えうです。男子ならば満十

歳までに生れた人です。

問 申告の義務があります。

答 申告の義務があります。

問 今回の國民登録で前回と

異なるところはありません

か。

答 大いにあります。例へば世

帶裏が新たに設けられたこと、

國民登録票を一般用と學徒用と

に分けたこと、一部の人たち

と現役の陸海軍軍人、廢省中

と、

主なものです。

問 世帶の定め方は……

答 だいたい家庭用品購入通帳

の有無を以て一世帯と認め、一

世帯主

を他の一般の人たちの申告方法

と異にしたこと……などがその

主なものです。

問 申告せねばならない人の

範囲は前回通りでせうか。

答 えうです。男子ならば満十

歳までに生れた人です。

問 申告の義務があります。

答 申告の義務があります。

問 今回の國民登録で前回と

異なるところはありません

か。

答 大いにあります。例へば世

帶裏が新たに設けられたこと、

國民登録票を一般用と學徒用と

に分けたこと、一部の人たち

と現役の陸海軍軍人、廢省中

と、

主なものです。

問 世帯の定め方は……

答 だいたい家庭用品購入通帳

の有無を以て一世帯と認め、一

世帯主

を他の一般の人たちの申告方法

と異にしたこと……などがその

主なものです。

問 申告せねばならない人の

範囲は前回通りでせうか。

答 えうです。男子ならば満十

歳までに生れた人です。

問 申告の義務があります。

答 申告の義務があります。

問 今回の國民登録で前回と

異なるところはありません

か。

答 大いにあります。例へば世

帶裏が新たに設けられたこと、

國民登録票を一般用と學徒用と

に分けたこと、一部の人たち

と現役の陸海軍軍人、廢省中

と、

主なものです。

問 世帯の定め方は……

答 だいたい家庭用品購入通帳

の有無を以て一世帯と認め、一

世帯主

を他の一般の人たちの申告方法

と異にしたこと……などがその

主なものです。

問 申告せねばならない人の

範囲は前回通りでせうか。

答 えうです。男子ならば満十

歳までに生れた人です。

問 申告の義務があります。

答 申告の義務があります。

問 今回の國民登録で前回と

異なるところはありません

か。

答 大いにあります。例へば世

帶裏が新たに設けられたこと、

國民登録票を一般用と學徒用と

に分けたこと、一部の人たち

と現役の陸海軍軍人、廢省中

と、

主なものです。

問 世帯の定め方は……

答 だいたい家庭用品購入通帳

の有無を以て一世帯と認め、一

世帯主

を他の一般の人たちの申告方法

と異にしたこと……などがその

主なものです。

問 申告せねばならない人の

範囲は前回通りでせうか。

答 えうです。男子ならば満十

歳までに生れた人です。

問 申告の義務があります。

答 申告の義務があります。

問 今回の國民登録で前回と

異なるところはありません

か。

答 大いにあります。例へば世

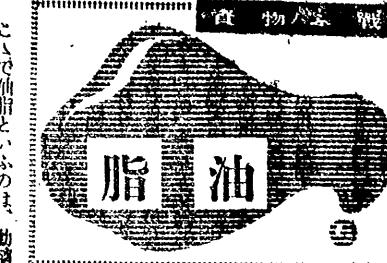
帶裏が新たに設けられたこと、

國民登録票を一般用と學徒用と

に分けたこと、一部の人たち

と現役の陸海軍軍人、廢省中

と、



進石油などは含みません。

◆これらの油脂は戦争遂行上どんなに重要な役割を擔當してゐるか、またこれら油脂の原料供給事情などはどうなつてゐるか。

こので油脂といふのは、動植物油類、即ち菜種油、大豆油、落花生油、棉質油、胡麻油、亞麻仁油、麻質油、花生油、桐油、椰子油、バーム油など、植物の果實や種子から搾つた植物性の油と、鰐油、鰐油、鮫油、鰐油、鰐油、牛脂豚脂、鰐油などの陸上動物や水産動物などから採つた動物油脂とを併せていふのであって、植物油系の石油や石炭を原料とする人

におけるドイツの敗因の一つであつたことから、今次の大戦前にドイツは蛋白と油脂の原料として、大豆だけでも約二百万トンほど貯蔵してゐたといふこと、そして、英國でも醸油を主として約六十万トンくらい貯蔵していました。英國でも醸油を主として約六十万トンくらい貯蔵してゐたといふことですが、この事実は明らかに油脂が戦争の進行に缺くからざるものであることを證してゐます。しかしながら國では、戦争に油脂が適當する役割などについては、餘りよく知られてゐないやうで、戦争と油といへば、すぐにして石油などの植物油脂が問題となりますが、植物油脂については從來殆んど

は明らかに油脂が戦争の進行に缺くからざるものであることを證してゐます。しかしわが國では、戦争に油脂が適當する役割などについては、餘りよく知られてゐないやうで、戦争と油といへば、すぐにして石油などの植物油脂が問題となりますが、植物油脂についても、從來殆んど

もとより長期戦下、國民營養上、脂肪質や蛋白質の食糧給源が減少し勝ちなどに、食用油が最も要求されており、大豆油も絶えず食用油の供給には苦心をして、その減少を最小限度に喰らひ止めるやうに努力してゐるの

もとより長期戦下、國民營養上、脂肪質や蛋白質の食糧給源が減少し勝ちなどに、食用油が最も要求されており、大豆油も絶えず食用油の供給には苦心をして、その減少を最小限度に喰らひ止めるやうに努力してゐるの

染病の撲滅や保健上、國民生活においてはもちろん、工場機械山車業車等で敢闘してをられる産業戦士にとっても必要不可欠なもので、油脂がこれらの方面にもつてゐる重要性は、戦時下とくに大なるものがあります。

それにも拘らず、石鹼は昭和十六年度以降次第にその生産が減り、食用油も十八年度の實績はもちろん、十九年度においても現在のところその供給量が減少するのやむなきに至つてゐるのはなぜですか。

これは油脂の總供給量が減少したことにもよりますが、それ以上に重要なことは、戦時下における油脂の需要面が非常に變化して、軍需品自體や兵器の運轉用資材としての直接の軍需、或は重要兵器その他の軍需用各種機械器具の生産が必要な工作用油脂としての需要面が非常に擴大した結果、食用油や石鹼用油脂への供給比率と、これら軍需

用や重工業用油脂への供給比率との間に著しい變化ができたからにはなりません。

◆どんな部面に油脂の需要面が擴大してきたのか、油脂は戦争遂行上どんな面に重要な役割を持つてきたか。

いま假りに重要な工業部門の工場を頭の中に描いてみますと、そこでは航空機の機體や大砲の砲身などになる特殊鋼材や、特殊の合金を鍛造してゐますが、その際、眞赤に灼熱したこれら

の素材や製品が、油のタンクの中へ投げ込まれてゐるのが見られます。それは、これらの素材の品質に一定の組織分子を保有させながら、堅牢かつ彈力性のあるものに鍛へ上げるために、特定の温度までは急速冷やし、それ以後は徐々にこれを冷却する必要があります。この油がいはゆる焼入油です。この油がいはゆる焼入油で、鋼鐵材などの鍛造には絶対

不司缺なものです。この用途に走られるものは、機械系油もありますが、植物油としては菜種油が最も要求されており、大豆油も部使用せられます。次ぎに各種兵器その他軍需用の各種機械器具で機械を必要とするも

のについてみますと、これを製作するのに必要な鍛型は砂と油とを捏ね合せてつくり、その中、液膜になつた鐵を流し込むと、砂の中の油が燃え、砂を燐せば、煙立つて、孔を穿つたりして、造つてゆくのです。この場合、切削具や穿孔器材と素材との接觸面に、油を撒くやうに油を流して、切削面の熱の上昇するのを防ぎ、切削具の磨滅を軽減しながら仕事を抄らせるのです。が、この油が切削油で、これがなくては重要機械器具の製作は全く不可能なのです。この切削油に最も適当な動物油脂は菜種油、大豆油などですが、最近には椰子油が一部使用せられております。椰子油が一部使用せられております。それは、これらの素材の度(乾く度)の強い亞麻仁油や、油もまた軍需上業になくてはならないのです。この油は、機械器具の表面に設置される機器内に架設された無線電信などの絶縁材として必要な絶縁塗料は油性の塗料ですが、これを製造するのに用ひられる油の主要なものは椰

であつて、昭和十八年度には多

少減少しましたが、一昨十七年

度まで都市、農村を通じて供給された食用油の總量が、支那事變勃發直後の昭和十二、三年頃

と比較して、だいたい同量であるのを見ても分りません。但し

一般にこのことが十分感じられ

てゐるのは、食用油が割當配

給制となつた結果、國民各層が

だいたい平均に供給を受けるこ

となりましたが、他面、牛肉、

鶏肉、豚肉、魚肉などはから

り入れてゐた脂肪分が減つたの

で、脂肪の給流を食用油からだ

け求めようとするため、供給額

もとより長期戦下、國民營養

上、脂肪質や蛋白質の食糧給源

が減少し勝ちなどに、食用油が

行上、由々しい障壁となるおそ

れがあるので、

もとより長期戦下、國民營養

上、脂肪質や蛋白質の食糧給源

&lt;p

油や亞麻仁油、麻實油や荏油はこれに次ぐものとなつてゐます。

また艦船を建造するに當つて、耐久性木造船では殊にさうですが、や速力の調整などに重大な影響をもつてある艦船底塗料も主要原料は油です。これに使用される油は亞麻仁油、桐油が主で、麻實油、荏油などが補充的に使はれてゐる状況です。

以上のほか油脂の新しい用途として、重要な面としては、航空機用潤滑油がその尤なるものです。

航空機はガソリン等であれば飛べるやうに考へられてゐます

が、高速度で飛ぶ航空機の發動機の回轉には、當然ピストンの高運動が要求され、そこに非

常な高熱と摩擦が生じることば

もちろんで、この高熱に堪へ、

機械の摩擦を防ぎながら回転を

よくすることは、航空機の性能を十二分に發揮させる上に必要

す。

ただでなく、機械の消耗を少

くするにも役立つものですから、

もしこの潤滑油がなければ、

折角造られた航空機を飛ぶこと

が出来ないことになるので、こ

こにも戦争遂行上、重要な油脂

の擔當部類が擴大されてゐるわ

けです。もちろん、この航空潤滑

油にも、植物油系のものと、動植

物油系のものを化學操作によつ

て、鐵物油系化したものとの二種

がありますが、その他幾つかは

草麻子油がそのまま使用せられ

て來ります。航空機の飛躍的増

加をやらねばならぬ今日、單に

鐵物油系だけに頼ることをせ

ず、その相當量は動植物油脂を

鐵物油系化した潤滑油に仰がな

ければならぬことはもちろんで

す。そして、これに適當した

油脂としては、バーム油、椰子

油、鯨油、草麻子油、大豆油、

落花生油を尤なるものとします

が、その他の油脂もすべて使用

できます。

最後に、戦争遂行上、絶対に必

要なもの一つは、爆薬ですか

があります。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。そのグリセリンの

需要も次第に増大することば

ります。

发力の強大な爆弾、爆薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆戦がいよ

いよ激烈となつて、ますます爆

薬が要求

されます。

この爆薬の主要原料であるグリ

セリンは、その大部分を動物油

から生産してゐます。す

べて、油脂はすべて約一〇

パーセントのグリセリンを含ん

でありますから、石鹼やローリン

などの製造過程中にグリセリン

を分解分離して、これを爆薬の

原料とします。航空爆

本誌十月十八日號(417號)15頁掲載の九月一日抽選(其ノ二)に續く

7376	27074	49771	63906	84814	84814	84814	86504	12440	84932	38619	81660	81660	81660	50146	18028
7448	27083	45863	64434	84846	84846	84846	84948	13660	84606	39558	81677	81677	81677	50154	18214
6000	27781	46091	64632	83290	83290	83290	84102	13717	84769	39440	81653	81653	81653	50182	18242
8288	27836	46412	64728	81929	81929	81929	84283	13889	84931	39459	81814	81814	81814	51674	18276
8337	27854	46415	64928	81928	81928	81928	84283	14059	84831	39459	81616	82224	82224	82473	18344
8882	28074	46565	65128	86515	86515	86515	84283	14059	84831	39459	81628	82224	82224	82473	18344
4682	28075	47031	87376	88476	88476	88476	84466	14466	85119	16357	82914	82914	82914	84101	18410
10045	28133	47125	87125	87733	87733	87733	84883	14838	85624	16107	83152	83152	83152	84101	18410
10314	28173	47111	87833	88134	88134	88134	84883	15026	87306	62200	83513	83513	83513	84117	18417
10374	24124	47113	66218	88949	88949	88949	87494	15166	87619	62888	83586	83586	83586	84117	18417
10397	24040	47227	66243	89242	89242	89242	87481	15028	89033	62431	83743	83743	83743	84147	18417
10719	24977	47549	66405	89122	89122	89122	87483	15028	89069	62493	84975	84975	84975	84700	18725
10721	30103	48193	66510	89133	89133	89133	86906	8824	88153	62577	84858	84858	84858	85117	18437
11174	30135	48428	66494	89240	89240	89240	86906	8824	88153	62577	84858	84858	84858	85117	18437
11269	30281	48990	67531	89119	89119	89119	86280	16732	88362	61718	84983	84983	84983	85150	18550
11381	20157	48584	67697	86668	86668	86668	86717	16827	88083	61648	85019	85019	85019	86985	18586
11409	31162	49148	67728	86921	86921	86921	86948	16861	89041	61919	85282	85282	85282	87084	18738
11929	31166	48616	67813	86927	86927	86927	86784	16826	88427	61976	85357	85357	85357	87264	18697
12126	81948	49183	68044	91160	91160	91160	87483	16834	88412	61747	85321	85321	85321	87358	18730
12231	31668	48973	68673	90966	90966	90966	87678	16944	89312	61747	85321	85321	85321	87349	18736
12283	32259	49183	68040	91166	91166	91166	87317	16940	89058	61442	86381	86381	86381	87440	18731
12629	33638	49122	68201	91639	91639	91639	87416	20233	89049	61237	87350	87350	87350	87418	18740
13113	32864	49449	61681	(販)	(販)	(販)	87478	20238	89136	51428	87943	87943	87943	88167	(販)
13197	34104	50045	61670	89126	89126	89126	87478	20248	89104	51662	88186	88186	88186	88421	19000
13419	34222	50160	70863	89767	89767	89767	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
13446	34876	50197	70694	89286	89286	89286	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
14162	34597	51014	71514	82404	82404	82404	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
14267	34653	51038	71623	82973	82973	82973	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
14756	34848	51289	72846	89097	89097	89097	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
14769	35045	51288	72764	89271	89271	89271	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
15029	35183	51218	72753	89341	89341	89341	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
15329	35238	51919	72780	89268	89268	89268	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
15669	25928	52089	72792	89281	89281	89281	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
16083	35593	52211	73074	89482	89482	89482	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
16441	35892	52244	74568	89442	89442	89442	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
16620	36111	52499	74935	89174	89174	89174	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
16910	36190	52498	74904	89175	89175	89175	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
17173	36232	53097	74928	89179	89179	89179	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
17253	36962	53179	73126	89268	89268	89268	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
17284	36917	54067	73198	89268	89268	89268	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
17446	36924	54188	73479	89281	89281	89281	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
17463	37124	52311	73503	86717	86717	86717	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
18863	37250	52481	73481	86717	86717	86717	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
18863	37250	52485	73496	86728	86728	86728	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220	88744	19026
18920	37279	52562	73164	86105	86105	86105	87478	20248	89147	51635	88220	88220	88220</		

1